



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 トランス・コスモス株式会社

コード番号 9715 URL <http://www.trans-cosmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 奥田 昌孝

問合せ先責任者 (役職名) 上席常務取締役CFO (氏名) 本田 仁志

四半期報告書提出予定日 平成27年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-4363-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	146,141	8.2	6,660	6.1	7,231	0.2	6,782	15.0
26年3月期第3四半期	135,050	9.7	6,279	31.1	7,215	37.4	5,898	86.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 7,868百万円 (△2.6%) 26年3月期第3四半期 8,078百万円 (161.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	164.87	—
26年3月期第3四半期	143.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	95,668	65,326	66.0	1,533.94
26年3月期	92,173	60,809	62.2	1,394.09

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 63,106百万円 26年3月期 57,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	46.00	46.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の配当予想は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	48,794,046 株	26年3月期	48,794,046 株
27年3月期3Q	7,654,084 株	26年3月期	7,653,376 株
27年3月期3Q	41,140,342 株	26年3月期3Q	41,142,168 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善や設備投資が増加傾向にあるなど消費税増税後の落ち込みから緩やかな回復基調が続いているものの、円安進行に伴う原材料の高騰、消費マインドの低下、さらに新興国の経済成長鈍化や政情不安など海外経済の下振れ懸念もあり、先行き不透明感が残る状況で推移しております。

当社グループの関連する情報サービス業界では、引き続きコスト競争力強化、業務効率化といった企業ニーズを背景に、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）サービスの需要が拡大傾向にあります。また、スマートフォンやタブレット端末の普及・進化に伴い、企業のEC（電子商取引）ビジネス展開が加速しており、こうした動きに伴うサービス需要が顕在化してきております。

このような状況の下、当社グループは、それぞれ企業ニーズに対応したBPOサービスの展開に注力し受注の増加につなげました。また、今後も拡大が見込まれるサービス需要に備え、「オムニチャネルサポートPowered by LINE ビジネスコネク」TMといった新しいサービスの開発・提供、ベトナム・インドネシアでのオフショア開発拠点の設置など、サービスの競争力・生産力の強化にも努めました。

一方、さらなる成長に向けた取り組みとして、グローバルでのBPOサービス需要に対応すべくASEAN地域を中心としたグローバル展開の推進と、ECワンストップサービス体制の強化にも注力しております。具体的には、日本最大級のSSP（Supply Side Platform）事業者である株式会社ジーニーと共同で、ASEAN10カ国でSSP事業を提供する出資会社「Simba Digital Pte Ltd」をシンガポールに設立しました。また、ASEAN地域の事業推進・管理を担う「ASEAN地域統括事務所」をタイに設立し、同地域における事業活動の推進を加速させていきます。一方、ECワンストップサービスでは、株式会社高島屋と共同で、日本の良質な商品を海外に向け提案・供給する、卸・小売販売事業を目的とした合弁会社設立に向けた準備室を開設しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高146,141百万円となり前年同期比8.2%の増収となりました。利益につきましては、売上高の増加およびコスト適正化推進などの影響により、営業利益は6,660百万円となり前年同期比6.1%の増益、経常利益は7,231百万円となり前年同期比0.2%の増益となりました。また、関係会社株式売却益や持分変動利益の計上などにより、四半期純利益は6,782百万円となり前年同期比15.0%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、BPOサービスの需要拡大やコスト適正化による収益性の改善の影響などにより、売上高は115,996百万円と前年同期比8.2%の増収となり、セグメント利益は5,304百万円と前年同期比4.7%の増益となりました。

(B to B国内子会社)

B to B国内子会社につきましては、受注が好調に推移し、売上高は16,972百万円と前年同期比11.2%の増収となり、セグメント利益につきましては、デジタルマーケティング子会社の利益改善などにより、997百万円と前年同期比44.9%の増益となりました。

(B to B海外子会社)

B to B海外子会社につきましては、韓国子会社において、コールセンターサービスの受注が好調に推移し、売上高は17,290百万円と前年同期比25.2%の増収となり、セグメント利益につきましては、オフショア事業における利益改善などにより、380百万円と前年同期比52.8%の増益となりました。

(B to C子会社)

B to C子会社につきましては、第1四半期連結会計期間において、一部子会社を連結の範囲から除外した影響などにより、売上高は4,314百万円と前年同期比33.7%の減収となり、セグメント損失は50百万円（前年同期、セグメント利益217百万円）となりました。

なお、セグメント損益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,495百万円増加し、95,668百万円となりました。このうち流動資産につきましては、1,248百万円減少し、65,678百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。固定資産につきましては、4,744百万円増加し、29,990百万円となりました。これは、投資有価証券の上場株式の時価評価による増加や関係会社株式の新規取得による増加などであり

ます。また、負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて1,021百万円減少し、30,342百万円となりました。これは、借入金の返済による減少などであり

ます。純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べて4,517百万円増加し、65,326百万円となり、自己資本比率は、66.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期については、引き続きお客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、中国、韓国をはじめとしたアジア市場での事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指します。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの平成27年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,521	30,296
受取手形及び売掛金	31,694	29,986
商品及び製品	79	119
仕掛品	674	1,025
貯蔵品	33	30
繰延税金資産	1,778	972
その他	2,445	3,539
貸倒引当金	△300	△292
流動資産合計	66,926	65,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,388	3,232
工具、器具及び備品(純額)	2,492	2,660
土地	1,181	1,074
その他(純額)	652	750
有形固定資産合計	7,714	7,718
無形固定資産		
のれん	151	91
ソフトウェア	1,178	1,346
その他	470	422
無形固定資産合計	1,800	1,861
投資その他の資産		
投資有価証券	2,494	4,354
関係会社株式	5,113	9,064
その他の関係会社有価証券	76	82
関係会社出資金	2,260	685
繰延税金資産	133	54
差入保証金	5,159	5,334
その他	749	1,108
貸倒引当金	△256	△273
投資その他の資産合計	15,731	20,411
固定資産合計	25,246	29,990
資産合計	92,173	95,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,846	6,853
短期借入金	366	55
1年内償還予定の社債	20	-
1年内返済予定の長期借入金	1,668	30
未払金	3,909	3,637
未払費用	7,106	8,588
未払法人税等	2,258	1,972
未払消費税等	1,682	4,627
賞与引当金	3,541	1,680
その他	2,110	1,846
流動負債合計	30,511	29,293
固定負債		
長期借入金	352	204
退職給付に係る負債	172	18
その他	327	825
固定負債合計	851	1,048
負債合計	31,363	30,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	20,510	20,510
利益剰余金	22,105	26,996
自己株式	△15,929	△15,930
株主資本合計	55,753	60,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	611	1,080
為替換算調整勘定	989	1,383
その他の包括利益累計額合計	1,600	2,464
少数株主持分	3,455	2,220
純資産合計	60,809	65,326
負債純資産合計	92,173	95,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	135,050	146,141
売上原価	109,936	119,472
売上総利益	25,114	26,668
販売費及び一般管理費	18,834	20,008
営業利益	6,279	6,660
営業外収益		
受取利息	41	64
受取配当金	30	23
持分法による投資利益	247	32
為替差益	469	449
その他	315	308
営業外収益合計	1,104	879
営業外費用		
支払利息	73	17
その他	95	290
営業外費用合計	168	308
経常利益	7,215	7,231
特別利益		
関係会社株式売却益	33	1,841
持分変動利益	-	1,195
訴訟損失引当金戻入額	1,064	-
その他	304	334
特別利益合計	1,402	3,371
特別損失		
減損損失	114	42
訴訟関連損失	406	-
その他	130	50
特別損失合計	651	93
税金等調整前四半期純利益	7,966	10,509
法人税、住民税及び事業税	596	2,798
法人税等調整額	1,200	706
法人税等合計	1,797	3,504
少数株主損益調整前四半期純利益	6,168	7,005
少数株主利益	270	222
四半期純利益	5,898	6,782

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,168	7,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	631	468
為替換算調整勘定	1,050	359
持分法適用会社に対する持分相当額	226	35
その他の包括利益合計	1,909	862
四半期包括利益	8,078	7,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,713	7,646
少数株主に係る四半期包括利益	364	221

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	107,057	8,246	13,243	6,502	135,050	—	135,050
セグメント間の内部 売上高または振替高	180	7,022	567	0	7,771	△7,771	—
計	107,237	15,269	13,811	6,503	142,822	△7,771	135,050
セグメント利益	5,068	688	248	217	6,223	56	6,279

(注) 1 セグメント利益の調整額56百万円は、セグメント間取引消去27百万円、のれんの償却額28百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	115,857	9,256	16,715	4,311	146,141	—	146,141
セグメント間の内部 売上高または振替高	139	7,715	575	2	8,433	△8,433	—
計	115,996	16,972	17,290	4,314	154,574	△8,433	146,141
セグメント利益 または損失(△)	5,304	997	380	△50	6,631	29	6,660

(注) 1 セグメント利益または損失(△)の調整額29百万円は、セグメント間取引消去13百万円、のれんの償却額15百万円であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。